

奈良佐保短大の学生(右)と一緒に、毛糸を巻いたリース作りに挑戦する子どもたち



あたたかな聖夜を――

奈良佐保短大生ら 飾り作り指導

奈良佐保短大(奈良市鹿野園町)は10日、奈良市の商業施設「ミ・ナーラ」で、クリスマス用の飾りなどを作るワークショップを開いた。ビジネスキャリアコース1年の授業の一環で、企画・運営した学生13人に教えてもらいながら真剣な表情で飾りを作る子どもたちの姿がみられた。

「世界でいちばんあたたかい日」がテーマ。毛糸や紙皿を使ったりリース作りや折り紙のベル作り、松ぼっくりのデコレーションなど手作りにとだわったとい

う。食物栄養コースの学生らが作ったクッキーなども販売した。

牛乳パックの紙ラタンに童の絵などを描いた同市の小学2年、阪口晶紀さん(7)は「工作が楽しかった。クリスマスが楽しみ」

と笑顔。中心的に企画した同短大1年の森本優月さん(19)は「『家族』を意識してそれぞれの催しの内容を考えた。あたたかさを感じてもらえればうれしい」と話していた。

【稻生陽】